

## 推薦絵本集計結果

## 1 集計表（推薦者 五十音順）

推薦絵本			入替候補絵本	推薦者	票数	資料ページ
タイトル	作者	出版社・価格（税込）				
そらめくんの こしょこしょこしょ	なかや みわ：作	小学館 935円	もう おきるかな？	伊藤委員	5	2ページ
おべんとうバス	真珠まりこ：作	ひさかたチャイルド 990円	もう おきるかな？	中野委員	3	2ページ
のりもの のーせてのせて	三浦太郎：作	講談社 1,320円	でんしゃくるかな？	西澤委員	1	3ページ
こねこがにゃあ	ひろのたかこ：作	福音館書店 990円	いないいないばあ	藤沢委員	5	3ページ

## 2 推薦理由等（推薦者 五十音順） ※【資料8】推薦絵本一覧の推薦理由も併せてご覧ください。

タイトル	推薦理由
そらめくんの こしょこしょこしょ	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子のスキンシップ絵本として、おすすめします。そらめくんシリーズの赤ちゃん絵本です。こしょこしょが大好きな子どもと一緒に楽しめます。</li> <li>「もう おきるかな？」と交代するには良い本だと思う。この本からスキンシップにつながり、さらに楽しめると思う。</li> <li>わらべうた的な要素があり、親子でのスキンシップにつながるのではないのでしょうか。繰り返しの要素もあるのが良いと思います。ただ、実際に読み聞かせているのを見てほしいですね。</li> <li>乳児期の絵本との出会いは、親子でのふれ合いあそび（スキンシップ・コミュニケーション）も目的の一つとなります。「こしょこしょ」は子どもの好きな遊びの一つでもあり、この時期に出会う絵本として適していると考えられます。</li> <li>繰り返しがかわいらしく優しいタッチの絵なので受け入れやすい絵本だと思います。</li> <li>スキンシップの遊びにも繋がって楽しめることも魅力です。</li> </ul>
おべんとうバス	<ul style="list-style-type: none"> <li>おひざに座る赤ちゃんの手をとって母親（読み手）が返事をする事で、やがて乳児は自分で手をあげて「はーい」と返事をするを喜ぶようになります。食べ物、のりもの、お返事も大好きな、乳児期の子どもの発達を促し、愛着を育む絵本だと思い、再度推薦させていただきます。</li> <li>バス、おべんとう、と子どもに身近なもので作られていて、親しみやすい絵本であること。1歳前後で返事ができるようになると、一緒に「はーい」と返事をして、物語の中に参加して楽しめる絵本だからです。</li> <li>はっきりとした色使いで子どもにわかりやすく、お話も楽しいと思ったため。</li> </ul>
のりもの のーせてのせて	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンプルな車の本で、車の好きな子には物足りなさを感じるかもしれないが、子供の遊びの中に「並べる」「上に積む・のせる」があるので、視覚化され、絵本から他の遊びへと移行も考えられると思う。様々な色が使用されており、良い刺激になると思う。読み手の声かけにも良いと思う。</li> </ul>
こねこがにゃあ	<ul style="list-style-type: none"> <li>小さい子どもの目にもわかりやすい、はっきりとした表情の子猫の姿や「にゃあ」というかわいい鳴き声に惹きつけられる。親猫と子猫の触れ合う姿に、安心感や心地よさが伝わる絵本だと思ったため。</li> <li>繰り返される「にゃあ」の鳴き声の言葉のリズムも心地よく、どこに隠れているのか指をさして当てる喜びや楽しさを、親子で共感することもできます。0歳児から楽しめる絵本だと思い、推薦させていただきます。</li> <li>初めての絵本として、シンプルなかかわいらしさがほっこりしていてぴったりだと思います。</li> <li>「こねこがにゃあ」の繰り返しで最後に「にゃあにゃあ」と二匹になり最後全員でお母さんのところにやっっていく。勤務していること園のO、1才児クラスで人気の絵本です。ただ入れ替えは動物の「もう おきるかな？」が良いかと思えます。</li> <li>子猫たちがとても可愛く描かれていて、親子で楽しめる絵本だと思います。お母さん猫と子猫の関係性もほほえましく、ほっこりします。</li> </ul>